

医史学関係文献目録 (項目五十音順)

医学切手・書画

吉雄耕牛先生画像

越中哲也 医学選粹 (二一九) 二一九八

二

世界の医学切手 (八五〜八七)

古川 明 医学のあゆみ 一

二〇(三) (八) (一一) 中付 一一一(三、七、一一) 中付

一一二(一) 一一(三、七、八) 中付、(九) 八六六、(一一)

中付一一三(三、八、一二、一三) 中付一九八二

世界の医学切手

ゼンメルワイス *Semmelweis* (II) 古川

明 医学のあゆみ 一一一(七) 中付 一九八二

ウィーン医療救護奉仕協会百年 古川 明 医学のあゆみ 一

二〇(六) 六六三 一九八二

ローベルト・コッホの結核菌発見一〇〇年 古川 明 医学の

あゆみ 一一一(一〇) 八五六 一九八二

旧済生館本館と医学校 古川 明 医学のあゆみ 一一三(一)

一一 一九八二

眼科医コナン・ドイル 古川 明 医学のあゆみ 一一三(一)

一四〜一五 一九八二

医学教育

一般教育の歴史的回顧 医学部を中心として 岡 国臣 医教

育 一三(三) 一五五〜一五六 (五) 三三六 一九八二

パリ大学医学部での宣誓文 緒方富雄訳 医学選粹 (二九三)

一九八二

明治初期の医学講習について 医学巡回訓導 関 善道 金沢

医大教養論集 一〇 一〜二六 一九八二

医学教育の中の医史学 全国アンケート調査の結果から 松木

明知 日医史誌 二八(一) 七二〜七五 一九八二

明治時代の公立医学校廃止の顛末(その一) 西川瀨八 日医

史誌 二八(二) 二七四〜二七五 一九八二

成医会講習所設立の頃 大滝紀雄 日医史誌 二八(二) 二七

七〜二七八 一九八二

医術開業試験 酒井シヅ 日本医事新報 (三〇一三) 一三三

一九八二

断片医学史散歩―東大理学部付属植物園に旧東京医学校本館と小

石川養生所を訪ねて― 春田三佐夫 *Modern Media* 二八

(一) 三五〜三九 一九八二

医史学一般

古い時代の医学について 海輪博太郎 医界新聞 (二四九七)

観照による知識構成 三 一九八二

実体観について 海輪博太郎 医界新聞 (二四九八) 四

一九八二

知識の伝承 海輪博太郎 医界新聞 (二四九九) 三、(一

五〇〇) 一四 一九八二

医療の技術 海輪博太郎 医界新聞 (二五〇一) 八 一九

八二

医療の評価 海輪博太郎 医界新聞 (二五〇二) 四 一九

八二

古典古代の奴隸医師について 小林雅夫 科学史研究 二一

(一四一) 四九～五六 一九八二

明治・大正時代医界夢物語 三好清綏 香川医師会誌 三四

(三) 三四～三六 一九八二

わが国における東洋医学導入の歴史 鎌倉時代 中村 昭 神

奈川リハセンター紀 (九) 四七～五一 一九八二

人間と科学—医科学とその歴史 Chandler McC. Brooks 産

業医大誌 四(一) 一〇三～一一九 一九八二

天障院様御麻疹諸留帳について 戸塚武比古 日医史誌 二八

(一) 五六～七一 一九八二

日本の原始時代における医療と王権 奥富敬之 日医史誌 二

八(二) 二二三～二二五 一九八二

古京出土遺物の医史学的研究(その二) 人形・人面墨書・土器な

どについて 樋口誠太郎 日医史誌 二八(三) 三七三～三

八四 一九八二

日本の医療文化史

オランダ正月 宗田 一 Neue Informa 六(一) 二八～

三三 一九八二

宇田川家三代の内科・薬物研究 宗田 一 Neue Informa

六(二) 二七～三三 一九八二

宇田川家の人びと 宗田 一 Neue Informa 六(三) 二

七～三三 一九八二

大坂の蘭学事始 宗田 一 Neue Informa 六(四) 二七

～三三 一九八二

草創期の京都蘭学 宗田 一 Neue Informa 六(五) 二

七～三三 一九八二

上方蘭学の進展 宗田 一 Neue Informa 六(六) 二七

～三三 一九八二

近代外科のあゆみ 宗田 一 Neue Informa 六(七) 二

七～三三 一九八二

外科の開拓者・華岡青洲 宗田 一 Neue Informa 六(八)

二七～三三 一九八二

華岡流外科の進展 宗田 一 Neue Informa 六(九) 二

七～三三 一九八二

人体模型の制作 宗田 一 Neue Informa 六(一〇) 二

七～三三 一九八二

万有学的日本総合研究のシーボルト 宗田 一 Neue In-

forma 六(一) 二七～三三 一九八二

シーボルトの門人たち(江戸参府前) 宗田 一 Neue In-

forma 六(二) 二七～三三 一九八二

「今昔物語集」の中の医学 白崎昭一郎 北陸医史 四(一)

三三～三五 一九八二

日本の医療史 酒井シヅ 薬事新報 (一一五四) 三八～四三

(一一七一) 四〇五～四一〇 (一一八四) 六八三～六八九

(一一九六) 九五二～九五七 一九八二

医学用語

医語語源一ロメモ 岩月賢一 大塚葉報 (三五三) 四二~四

四 一九八二

歴史のなかの現代医学 川喜田愛郎 からの科学 (二〇九)

二~七 一九八二

医学用語の起り 小川鼎三 *Creata* (六四) 二 一九八二

医療機器

胃カメラの歴史

一九世紀の硬性胃鏡 丹羽寛文 外科 四四(一) 三〇~三

二、(一) 二〇四~二〇七 一九八二

胃カメラのアイデアと胃壁透光法 丹羽寛文 外科 四四

(三) 三〇四~三〇七 一九八二

最初の胃カメラ—Lange および Melzing の胃内撮影装置

丹羽寛文 外科 四四(四) 四二〇~四二四 一九八二

軟性胃鏡の完成 丹羽寛文 外科 四四(五) 五三五~五三

八 一九八二

Gastrophotometer 針穴式立体胃カメラ 丹羽寛文 外科 四四

(六) 六三三~六三六 一九八二

胃鏡による写真撮影 丹羽寛文 外科 四四(七) 七三一~七

三四 一九八二

ガストロカメラの開発 丹羽寛文 外科 四四(八) 八五三

~八五六 一九八二

胃カメラの改良とその臨床応用 丹羽寛文 外科 四四(九)

九七二~九七五 一九八二

V型カメラとその他の胃カメラ 丹羽寛文 外科 四四(一

〇) 一〇七五~一〇七八 一九八二

ファイバースコープの開発 丹羽寛文 外科 四四(一一)

一二九四~一二九八 一九八二

胃ファイバースコープの発展 丹羽寛文 外科 四四(一二)

一四二五~一四二八 一九八二

十二指腸、大腸の内視鏡 丹羽寛文 外科 四四(一三) 一

五五二~一五五六 一九八二

日葡辞典から見た安土桃山時代医学 医療用具 亀 節子・大

槻 彰・前川久太郎 日医史誌 二八(二) 一六六~一六八、

(三) 二九七~三〇六 一九八二

顕微鏡と医学のあゆみ 小林保正 北陸医史 四(一) 一九~

二五 一九八二

今は昔・医療機器 聴診器 宗田 一 臨ME 六(四) 三六

一~三六四 一九八二

今は昔 医療機器 浣腸器 宗田 一 臨ME 六(五) 九~

一一、(六) 六一七 一九八二

医療制度史

上田市医師会附属医学史料館報 明治の枝医手当 柳沢文秋

上田市医師会報 一一(一) 一四 一九八二

明治期医療政策の展開過程「学制」との比較において 神谷昭

典 健会議 三四(九) 二〇~二七 一九八二

『延喜式卷第三十七典藥寮』解釈の一試み MACE 美枝子 日

医史誌 二八(二) 二二五~二二七 一九八二

岡谷蚕糸博物館所蔵資料にみる製糸工女の医療費負担について
(第五報中途退場工女と薬価負担) 清水勝嘉 日医史誌 二

八(二)二四一~二四三 一九八二

日本医療史(第四編) 終戦前後の医療混乱 日戸修一 日医

新報 (三〇二二) 六五~六七 一九八二

枢密院文書からみた厚生省設置までの変遷について 清水勝嘉

防衛医大誌 七(三)二六八~二八二 一九八二

学会

大阪胸部医会三〇周年をかえりみて 山本知男 大阪胸部医会

誌 (五九) 六~九 一九八二

第八三回日本医史学会総会 蒲原 宏 日医新報 (三〇四八)

四三~四七 一九八二

日本癌治療学会一八年の歩み 中山恒明 日癌治療会誌 一七

(三) 七五九~七六三、癌の臨 二八(六) 四八七~四九一

一九八二

食道疾患研究会三〇回の歩みと将来像 中山恒明 日消外会誌

一五(九) 一四一五~一四一九 一九八二

フォン・シーボルト研究会の活動について 大森 実 法政

(三三三) 一三~一七 一九八二

日本リハビリテーション医学会年表(一) 昭和三八年~昭和五

六年(一九六三年~一九八一年) リハビリテーション医学

編集委員会 リハ医 一九(一) 四七~五四 一九八二

衛生・公衆衛生

労働と健康をめぐるいくつかの資料(二) 農業の労働科学―農具

便利論― 三浦豊彦 科学医学資料研究 (九二) 一~五

一九八二

労働と健康をめぐるいくつかの資料(三)―鼓銅圖録と別子銅山

圖巻― 三浦豊彦 科学医学資料研究 (九五) 六~九 一

一九八二

「特命全權大使米欧回覽実記」における労働衛生事情 乾 修

然 日医史誌 二八(二)二四〇~二四一 一九八二

大正期の諏訪地方における製糸工場の労働環境について 清水

勝嘉 日医史誌 二八(二)二四三~二四五 一九八二

水銀中毒の歴史 三浦豊彦 日医史誌 二八(二)二四五~二

四七 一九八二

労働衛生に関する世界最初の印刷物 松藤 元 日本医事新報

(三〇一五) 六五~六六 一九八二

明一六年発行日本飲食品分析表について 金子 俊・丸井英

二 民俗衛生 四八(一)二九~三四 一九八二

生活リズムの歴史 吉竹 博 労働の科学 三七(九) 三七~

四一 一九八二

解剖学史

レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖の方法について―解剖手稿通

論― 山田致知 科学医学資料研究 (九五) 一〇~一三

一九八二

いわゆる「ターヘル・アナトミア」と解体新書の比較 酒井

恒 日医史誌 二八(二)一七四~一七六 一九八二

看護史

開拓農民のなかへ、保健婦として生き昭和史を綴る 大西若稲

看護 三三(一四) 八二〇八七、三四(一) 九七〇一〇三、

(二) 六五〇七二、(三) 八一〇九〇 一九八二

医学思想史からみたナイチンゲール「健康」の意味をめぐって

川喜田愛郎 看護 三四(二) 三九〇五三 一九八二

アメリカにおける看護学の発達史概観(一) 南 裕子 看護

三四(五) 四六〇五四、(二〇) 一〇六〇一八 一九八二

近代日本看護史における看護婦の社会的地位・評価に関する研究

亀山美知子 看護 三四(一) 八二〇九六、(二) 一二六〇一

四一、(三) 一三八〇一四六、(五) 一一三〇一二七、(六) 一

一六〇一二五、(七) 一一三〇一二四、(二〇) 一二七〇一四〇、

(二二) 九七〇一〇五、(二二) 九七〇一〇五、(二四) 一二

〇〇一二九 一九八二

「ランブを持ったレデ」の神話と実像 嶋 勝次 看学生 三

〇(一) 一〇〇一二 一九八二

大正看護史 明治から大正へ 渡部喜美子 看教育 二

三(一) 六〇〇六六 一九八二

看護婦規則をめぐって 渡部喜美子 看教育 二三(二) 一

二五〇一三〇 一九八二

病院における看護 渡部喜美子 看教育 二三(三) 一八九

一九四、(四) 二五五〇二六〇 一九八二

個人史からみた派出看護 渡部喜美子 看教育 二三(五)

三二九〇三三五 一九八二

日赤の救護看護社会看護活動 渡部喜美子 看教育 二三

(六) 三九四〇三九九、(七) 四六一〇四六六 一九八二

マスコミに現われた看護婦像 渡部喜美子 看教育 二三

(二〇) 六五三〇六五八、(二二) 七一八〇七二三 一九八二

大正から昭和へ 渡部喜美子 看教育 二三(一三) 八四八

〇八五三 一九八二

明治期刊行のナイチンゲール伝記について―「婦人立志篇」をめぐって― 吉川龍子 綜合看護 一七(一) 九一〇二

一九八二

ドイツの初期の看護教科書 アンナ・シュティッカー「近代看護

の成立」から 真壁伍郎 綜合看護 一七(三) 五九〇七七

一九八二

「幼きイエズス修道会」京都支部における看護婦養成事業につい

て(明治二五〇三七七)

坂本支子・高橋政子・名原寿子・

山根信子・広瀬房子 日医史誌 二八(二) 二三七〇二三九

一九八二

占領体制下(一九四五〇一九五二)の公衆衛生(第二報)終戦直

後の国民栄養の現状 清水勝嘉 防衛医大誌 七(一) 七〇

〇八三 一九八二

衛生技術官団体・日本公衆保健協会(一九二五〇一九五二)につ

いて 清水勝嘉 防衛医大誌 七(二) 一六八〇一七七 一

一九八二

北陸地方の看護の発展(その一) 金川克子・天津栄子・泉キ

ヨ子・萩野妙子 北陸医史 四(一)二七～二九 一九八二

眼科史

医学史上に散見する眼科 飯沼 巖 銀海 (九一)一八～二〇、(九二)二三～二五 一九八二

医学史上に散見する眼科 古代インド 飯沼 巖 銀海 (九三)一一～一四 一九八二

医学史上に散見する眼科 飯沼 巖 銀海 (九四)二〇～二二 一九八二

眼科諸流派の秘伝書 中泉行信・中泉行史・斎藤仁男 臨眼 三六(一)七六～七七、(二)一六八～一六九、(三)二六六～二六七、(五)五二二～五二三 一九八二

眼科諸流派の秘伝書 中泉行信・中泉行史・斎藤仁男 臨眼 三六(七)八二八～八二九、(八)一〇〇〇～一〇〇九、(九)一一〇〇～一一〇一、(一二)一五四〇～一五四一 一九八二

華佗 中国の外科の父 陳 輝真 臨眼 三六(一〇)一一二 九～一二二 一九八二

文庫の窓から 眼科諸流派の秘伝書 中泉行信・中泉行史・斎藤仁男 臨眼 三六(一一)一四一六～一四一七、(一二)一五四〇～一五四一 一九八二

軍陣医学史

陸海軍における初期の脚気病対策 佐久間温巳 日医史誌 二 八(二)二八二～二八三 一九八二

陸軍軍医学校二十三期生と太平洋戦争 西田重衛 日本医事新報 (三〇二二)六一～六二 一九八二

形成外科史

植皮の歴史

Cross Leg Flap の開発と Delayed skin flap 倉田喜一郎 日災医会誌 三〇(一)一～九 一九八二

筒状皮弁を考え出した三人の医師たち 倉田喜一郎 日災医会誌 三〇(三)一七九～一八五、(四)二五七～二六一、(五)三二一～三二六 一九八二

一八六八年にはじめて遊離植皮術が成功した 倉田喜一郎 日本災害医学会誌 三〇(二)八三五～八四二 一九八二

Z形成術を開発した人々 倉田喜一郎 日災医会誌 三〇(二)一七一 一九八二

社会史よりみた乳房 桑江良樹 日美容外会誌 二〇(三)四 一六九 一九八二

股関節形成術の日本の歴史 天児民和 日リウマチ・関節外会誌 一(一)三～五 一九八二

外科史

外科医を風刺した版画 酒井シヅ 手術 三六(一)一七一 九八二

表紙のことは ビルロートが最初に摘出した胃癌 酒井シヅ 手術 三六(五)五二一 一九八二

Edward Albert の手術 酒井シヅ 手術 三六(六)六三五 一九八二

エドウィン・スミス・パピルス 酒井シヅ 手術 三六(七)

七五三 一九八二

ボンベイの遺跡から発掘された外科道具 酒井シヅ 手術

三六(八) 九二六 一九八二

ボンベイで発掘された婦人科用器具 酒井シヅ 手術 三六

(九) 一〇〇三 一九八二

ウィーン総合病院 酒井シヅ 手術 三六(一〇) 一一七九

一九八二

Zenmann の手術室 酒井シヅ 手術 三六(一一) 一二五

一 一九八二

穿頭術を施した頭蓋骨 酒井シヅ 手術 三六(一二) 一三

六四 一九八二

食道外科のあゆみ 中山恒明 消外セミナー (七) 一〇五

一九八二

外科史外伝

—ルネッサンスから「外科の夜明け」まで—

(その一) ラテン語医学からの曲り角 大村敏郎 臨外

三七(一) 九一〇 一九八二

フランス王家と外科 大村敏郎 臨外 三七(二) 二四三

二四六 一九八二

太陽王ルイ一四世と外科 大村敏郎 臨外 三七(三) 三

八一〇 三八四 一九八二

外科アカデミー創立の前後 大村敏郎 臨外 三七(四)

五三七〇 五四〇 一九八二

ドゥソーの時代 大村敏郎 臨外 三七(六) 九四七〇九

五〇 一九八二

ナポレオン時代の外科 大村敏郎 臨外 三七(七) 一〇

九五〇 一〇九八 一九八二

パリ病院小史 大村敏郎 臨外 三七(八) 一二二九〇一

二二二 一九八二

殺菌、滅菌以前の外科 大村敏郎 臨外 三七(九) 一三

五七〇 一三六〇 一九八二

下半身の外科の進歩 大村敏郎 臨外 三七(一〇) 一五

四九〇 一五五二 一九八二

知られざる外科の著名人達 大村敏郎 臨外 三七(一一)

一六八五 一六八八 一九八二

三人の医学の偉人のふるさと 大村敏郎 臨外 三七(一二)

一八一九 一八二三 一九八二

人工肛門造設術式の歴史の変遷 鈴木義雄 臨外 三七(八)

一七三 一八二 一九八二

産婦人科史

帝王切開 酒井シヅ 手術 三六(二) 一三三 一九八二

最初の卵巣腫瘍摘出術 酒井シヅ 手術 三六(三) 二六七

一九八二

乳癌摘出術 酒井シヅ 手術 三六(四) 三八七 一九八二

産神研究の諸問題 大島建彦 西郊民俗 (九八) 二〇〇 二四

一九八二

産神としての火の神 最上孝敬 西郊民俗 (二〇〇) 一〇三、

(二〇一) 一〇四 一九八二

産屋の火—火の媒介機能を中心に— 飯島吉晴 西郊民俗(一〇〇)三〇七 一九八二

唐松山の信仰 大島建彦 西郊民俗 (一〇〇〇)七〇一—一九八二

マツドローという神 久野俊彦 西郊民俗 (一〇〇〇)一一一—一九八二

お産に立ちあう神—東京都大田区の事例— 中島恵子 西郊民俗 (一〇〇〇)一三〇—一九八二

神奈川の産神 大藤ゆき 西郊民俗(一〇〇〇)一五〇—一九八二

若狭のウブガミ(産神)—福井県遠敷郡名田庄村小倉の場合— 天野 武 西郊民俗 (一〇〇〇)一八〇—一九八二

安産信仰としての穴太寺観音 木村 博 西郊民俗 (一〇〇〇)二四〇—一九八二

愛知県岡崎市の産神信仰と出産儀礼 山本 節 西郊民俗(一〇〇〇)二七〇—一九八二

愛知県西尾市の産神信仰と出産儀礼 山田八千代 西郊民俗(一〇〇〇)三二〇—一九八二

愛知県額田郡額田町の産神信仰と出産儀礼 永田典子 西郊民俗(一〇〇〇)三五〇—一九八二

日本における新生児沐浴の変遷 蔵方宏昌 日医史誌 二八(二)一八五—一九八二

「八十五年京都産婦人科医界のあゆみ」 三木通三・森 武史・伴 一郎 日医史誌 二八(二)二六九—二七一 一九八二

緒方正清と産婦人科学史 石原 力 日医史誌 二八(二)二七〇—二七三 一九八二

北海道における明治期の帝王切開の歴史 松木明知 日医史誌 二八(三)三六三—三七二 一九八二

正常胎位の発見と哺乳動物の胎位 蔵方宏昌 日本医事新報(三〇一六)一四六 一九八二

「産法典」について 田代逸郎 宮崎医師会誌 五(二)一五三—一五七 一九八二

歯学史

Solyman Brown (一七九〇—一八七六)と彼の論文「A Treatise on mechanical dentistry」について第一報、二報 永田和弘 日本歯科医史学会誌 九(一)一〇二、(二)六二—七三 一九八二

「備急千金要方」に記載された歯病について第一編「備急千金要方」に関する書誌的考察 戸出一郎 日本歯科医史学会誌 九(一)一三〇—一三六 一九八二

ニッケルメッキを応用したわが国最初の医療器械器具 大橋正敬・後藤尚久・菅原明善・加藤保雄・西川富一・芝原健夫 日本歯科医史学会誌 九(一)一七〇—一七五 一九八二

故真鍋満太先生の足跡—戦後日本におけるポストグラジュエート教育の起源 森山徳長 日本歯科医史学会誌 九(一)二六〇—二六四 一九八二

山本文之衛門使用の木床義歯について 新藤恵久 日本歯科医史学会誌 九(一)三五〇—三五六 一九八二

ビエール・フォーシャル著「歯科外科医」 高山直秀 日本

歯科医史学会誌 九(二)四五~六一、(三)八四~九四 一

九八二

木床義歯の研究―「嘉納家文書」をめぐる 杉本茂春 日本

歯科医史学会誌 九(二)七四~七七 一九八二

明治中期の歯科雑誌について 長谷川正康 日本歯科医史学会

会誌 九(三)四 一九八二

明治二〇年頃の歯科治療(一枚の領収書から) 青木栄夫・三

浦永介・佐藤貞勝 日本歯科医史学会誌 九(三)四 一九

八二

化学細菌説の確立にいたる W.D. Miller 業績の累年的分析

森山徳長 日本歯科医史学会誌 九(三)四 一九八二

一九世紀齲蝕病因論の編集史的解析 森山徳長 日本歯科医史

学会誌 九(三)五 一九八二

芝「かねやす」の起源について 本山佐太郎 日本歯科医史学

会誌 九(三)六~七 一九八二

堀部安兵衛および大高源五の筆になる看板の由来とそのゆくえ

本山佐太郎 日本歯科医史学会誌 九(三)七~八 一九八

二

新聞にみられる医学と歯学の広告 鈴木 勝・谷津三雄 日本

歯科医史学会誌 九(三)八 一九八二

Telescope crown の史的考察 永田和弘 日本歯科医史学会

誌 九(三)八~九 一九八二

創成期における歯科用 ニッケル・クローム合金 下総高次

日本歯科医史学会誌 九(三)九 一九八二

アーユルヴェーダの中の歯科学 杉本茂春 日本歯科医史学会

会誌 九(三)九~一 一九八二

フーフェランドと医の倫理について 中原 泉・本間邦則 日

本歯科医史学会誌 九(三)一~一二 一九八二

解体新書と口腔解剖 中原 泉、本間邦則 日本歯科医史学会

会誌 九(三)一二 一九八二

モリス著「日本 その日その日」に見られる歯科記述について

新藤恵久 日本歯科医史学会誌 九(三)一二~一三 一九

八二

甲骨文「蝕」字に関する考察 戸出一郎 日本歯科医史学会

誌 九(三)一三 一九八二

明治時代の初学医学書に関する研究(一)―人体問答― 岡田治

夫 日本歯科医史学会誌 九(三)一三~一六 一九八二

満州国時代の歯科医人の活躍について 長谷川俊夫 日本歯科

医史学会誌 九(三)一六 一九八二

Hippocampus の影像と誓 池尻 茂 日本歯科医史学会誌

九(三)一六 一九八二

わが国における歯牙フッ素症の初期の報告 加藤一男・石井拓

男・榊原悠紀田郎 日本歯科医史学会誌 九(三)一六~一

七 一九八二

学校歯科保健活動年表について 榊原悠紀田郎 日本歯科医史

学会誌 九(三)一七~一八 一九八二

木床義歯の研究 杉本茂春 日本歯科医史学会誌 九(三)九

五〇九八 一九八二

わが国における救急蘇生法の歩み 谷津三雄 日齒麻会誌 一

〇(一)五五〇五八 一九八二

史跡記念碑

「ヒボクラテスの誓い」の銘板 中山恒明 医学選粹 (二一九)

二〇三 一九八二

東京大学医学部図書館とヒボクラテス胸像 緒方富雄 医学のあ

ゆみ 一一一(二)一〇三 一九八二

「蘭学の泉はここに」記念碑の改装 緒方富雄 医学のあゆみ

一一一(三)一五四 一九八二

日本におちついたヒボクラテス胸像 緒方富雄 けんさ 一一

(一一二)一九〇二七 一九八二

まぼろしの小倉医学校—小倉でもっとも古い解剖碑 手島宰三

小倉郷土会「記録」(二二)二三〇二八 一九八二

疾病史

肺炎の歴史 石井兼央 外科 MOOK (1111) 一〇五 一九

八二

北條道益筆小倉大納言実起病床診療記録 蒲原 宏 新潟県医

師会報 (三八四)一九八二

皮膚は麻疹 三井駿一 日医史誌 二八(二)二一八〇二二〇

一九八二

京都における梅毒小史 藤垣亀雄 日医史誌 二八(二)二四

八〇二五二 一九八二

二又針勲章 天然痘根絶私史 北村 敬 メディヤサークル

二七(五)三一〇—三二〇、(六)三六九—三八〇 一九八二

原爆症の最初の論文 三浦豊彦 労働の科学 三七(八)五二

〇五三 一九八二

種痘

柏崎県種痘免許状(明治五年) 蒲原 宏 新潟県医師会報

(三八二) 一九八二

有田樹林の論文「日本種痘ノ始祖」の紹介と痘苗活着年の検討

添川正夫 日医史誌 二八(二)一〇一—一〇四 一九八二

武相の種痘 平塚宿の場合 深瀬泰巨 日医史誌 二八(二)

二五九—二六一 一九八二

津藩の種痘 茅原 弘 日医史誌 二八(二)二六一—二六二

一九八二

中川五郎治の種痘法の研究 新しく発見された五郎治による被接

種者 松木明知 日医史誌 二八(二)二九一—二九二 一

九八二

獣医学史

馬医鍼灸図解大鍼之巻について 付録「馬医鍼灸図解大鍼之巻」

著者について 村井秀夫・岸 浩・松尾信一 日本獣医学雑誌

誌 (二六)一〇一—一〇五 一九八二

寛文牛疫の復旧に至る史的考察 岸 浩 日本獣医学雑誌

(二六)一六〇—二六 一九八二

獣医学博士時重初熊先生伝 岸 浩 日本獣医学雑誌 (一

六)二七—三四 一九八二

戦後の家畜薬事 稻吉大資 日本獣医学雑誌 (一六)三五

三九 一九八二

扇馬訳説考—その由来と展開について 中村洋吉 日本獣医史

学雑誌 (一六) 四〇〜四五 一九八二

下総御料牧場のできるまで 谷垣康弘 日本獣医史学雑誌

(一六) 四六〜五二 一九八二

獣医師の使命と将来 越智勇一 日本獣医史学雑誌 (一六)

五三〜五九 一九八二

戦後の家畜衛生 高村 禮 日本獣医史学雑誌 (一六) 六〇

〜六七 一九八二

歴史としての病氣 立川昭二 日本獣医史学雑誌 (一六) 六

八〜七一 一九八二

書誌学

『蘭学事始』(岩波文庫)の新しい改訂版 緒方富雄 医学の

あゆみ 一二二(五) 二九二 一九八二

越前朝倉版『俗解八十一難経』 宗田 一 医道の日 四一

(一一) 二 一九八二

古典医学書翻訳 その一 ケルスス著『医学論』(序論) 石渡

隆司(他) 岩手医誌 三四(五) 七五五〜七六三 一九八二

海上医学研究の文献としての『海軍軍医雑誌』について 中田

不二男 海上医研 一九 一四一〜一六一 一九八二

パストゥール全集とその「索引」 長野 敬 科学医学資料研

究 (九二) 六〜九 一九八二

H・ヨアヒム訳「パピルス・エーベルス」 川喜田愛郎 科学

医学資料研究 (九二) 一〇〜一一 一九八二

クロード・ベルナル「有機体液の生理的特質及び病的変化に関

する講義」 一八五九(全三巻) 古川 明 科学医学資料

研究 (九二) 一二 一九八二

C.P. ダランベール訳「ガレノス著作集」 川喜田愛郎 科学医

学資料研究 (九二) 一三 一九八二

ケータム「医学雑誌」クイラント「解剖付図の歴史と文献」

川喜田愛郎 科学医学資料研究 (九四) 一九八二

ヘルムホルツの『生理光学提要』について(二) 山口宙平

科学医学資料研究 (九四) 一九八二

命名と分類—『医学典範』(イブンス・スィナー)における解剖学

と生理学— 五十嵐 一 科学医学資料研究 (九五) 一

五、(九六) 一〜五、(九八) 八〜一一、(九九) 一〜五、(一〇

一) 一〜五 一九八二

ツシエンヌ・ド・ブローニユの「局所通電」—筋疾患の先駆業

績とその生涯 豊倉康夫 科学医学資料研究 (一〇〇) 一

〇〜一六 一九八二

エスキロール「医学・衛生学・医事法政よりみた精神医学」(一

八三八年、パリ) 大塚恭男 科学医学資料研究 (一〇二)

六〜七 一九八二

クリュヴェイエ「人体の病理解剖」第一巻、一八二九〜三二

川喜田愛郎 科学医学資料研究 (一〇三) 六〜七 一九八二

ヘルムホルツの『生理光学提要』について 山口宙平 科学医

学資料研究 (一〇三) 八〜一一、(一〇四) 七〜八 一九八二

「慾齋覚書について」 遠藤正治 日医史誌 二八(二) 二六

五二六七 一九八二

古書『胃瘍』 栗山敦治 日本医事新報 (三〇三三) 六二

一九八二

日本における『傷寒論』研究の概観 松田邦夫 中医臨床 三

(臨時増刊号) 二〇〇三三 一九八二

新出土資料と『傷寒論』 赤堀昭 中医臨床 三(臨時増刊

号) 九一〇九七 一九八二

漢方の医学と『傷寒論』 藪内清 中医臨床 三(臨時増刊

号) 九八〇一〇一 一九八二

『傷寒論』と『神農本草經』の關係 高学敏 中医臨床 三

(臨時増刊号) 一〇二〇一〇七 一九八二

『傷寒雜病論』成立の歴史的背景 郝万山・彭桂冬 中医

臨床 三(臨時増刊号) 一二九〇一三二 一九八二

『傷寒論』版本概説 馬繼興 中医臨床 三(臨時増刊号)

一三三〇一三八 一九八二

考証学派と『傷寒論』 小曾戸洋 中医臨床 三(臨時増刊号)

一九六〇二〇五 一九八二

吉益東洞と『傷寒論』 大塚恭男 中医臨床 三(臨時増刊号)

二二一〇二二五 一九八二

中西深齋の『傷寒論』研究 松本一男 中医臨床 三(臨時増

刊号) 二二六〇三三〇 一九八二

山田正珍の『傷寒論』研究 松本一男 中医臨床 三(臨時増

刊号) 二三一〇三三四 一九八二

和田東郭と『傷寒論』 川島繁男 中医臨床 三(臨時増刊号)

二三五〇三三八 一九八二

山田椿庭の『傷寒論』研究 寺師睦宗 中医臨床 三(臨時増

刊号) 二二九〇二四四 一九八二

明治・大正・昭和の傷寒論研究文献 矢数圭堂 中医臨床 三

(臨時増刊号) 二五七〇二六四 一九八二

朝鮮における『傷寒論』の受容 梁哲周 中医臨床 三(臨

時増刊号) 二六五〇二七一 一九八二

『傷寒論』の文章について 荒木正胤 中医臨床 三(臨時増

刊号) 三〇一〇三〇六 一九八二

森立之「八素説」をめぐって「素問」の巻数についての疑問

丸山敏秋 日医史誌 二八(一)一五〇三三 一九八二

嵯康「養生論」の考察 丸山敏秋 日医史誌 二八(二)二二

〇〇二二二 一九八二

正親町天皇の半井氏に「医心方」を下賜された理由について

高島文一 日医史誌 二八(二)二二四〇二二五 一九八二

「医心方」の伝写について(Ⅱ) 杉立義一 日医史誌 二八

(二)二二六〇二二八 一九八二

北京・中医研究院所蔵の「西陲古方技書殘卷江編」について

森村謙一 日医史誌 二八(二)二二四 一九八二

史料 松岡静雄『滞蘭日記』(その二) 中村義彦 日蘭学会

会誌 六(二)一〇四〇 一九八二

神経学史

神経心理学史の里程標

P. Broca の脳患者 Leborgne の脳 浜中淑彦 脳と神経

三四(三) 二九八～二九九 一九八二

Broca の先駆者たち F. J. Gall 浜中淑彦 脳と神経 三

四(四) 四一四～四一五 一九八二

Gall の脳器官学 organologie とその形成 浜中淑彦 脳と

神経 三四(五) 五一七～五一九 一九八二

Gall の大講演旅行 浜中淑彦 脳と神経 三四(六) 六一七

～六一九 一九八二

Paris における Gall 浜中淑彦 脳と神経 三四(七) 七一

二～七二三 一九八二

Spurzheim と骨相学の余波 浜中淑彦 脳と神経 三四(八)

八二〇～八一 一九八二

失語の心理 言語学説の創始 J. Lerdet 浜中淑彦 脳と神

経 三四(九) 九一六～九一七 一九八二

Jackson の神経機能階層論 Norwich の学会(一八六八)にお

ける Broca との論争 浜中淑彦 脳と神経 三四(一〇)

一〇一八～一〇一九 一九八二

ジャクソンニズムの歴史的背景 浜中淑彦 脳と神経 三四

(一一) 一一六～一一七 一九八二

Wernicke と連合主義の成立 浜中淑彦 脳と神経 三四

(一二) 一二八～一二九 一九八二

心が宿る所

(一) ギリシャ時代 森 優 臨床と研究 五九(一) 赤ペ

ージー～二 一九八二

(二) ローマ時代の初期 森 優 臨床と研究 五九(二)

赤ペーじ 一九八二

(三) ガーレンの生涯 森 優 臨床と研究 五九(三) 赤

ペーじ～二 一九八二

(四) ガーレンの神経学 森 優 臨床と研究 五九(四)

赤ペーじ七～八 一九八二

(五) 精神活動は脳室で行われるという説 森 優 臨床と

研究 五六(五) 赤ペーじ九～一〇 一九八二

(六) 精神活動の源は脳室にあるとする説は後退する 森

優 臨床と研究 五九(六) 一～一二 一九八二

(七) ガルの頻蓋骨相学 森 優 臨床と研究 五九(七)

赤ペーじ一三～一四 一九八二

デカルトは心は松果体に宿ると考えた 森 優 臨床と研究

五九(八) 赤ペーじ 一九八二

身体と精神とは別物であるとの考 森 優 臨床と研究 五

九(九) 赤ペーじ 一九八二

身と精神についての一元論 森 優 臨床と研究 五九(一

〇) 赤ペーじ 一九八二

ニューロンの発見 森 優 臨床と研究 五九(二) 赤ペ

ージ 一九八二

ブローカーの中枢 森 優 臨床と研究 五九(二) 赤ペ

ーじ 一九八二

小児科史

鹿児島の小児科医史 森 重孝 鹿児島市医報 二二(二) 二

三～二五 一九八二

鹿児島の小児科医史(その一〇) 森 重孝 鹿児島市医報

二一(四)三二〇三五 一九八二

腎芽腫の歴史的事項 三杉和章 子どもの医療センター医誌 一

一(四)二二六〇二三七 一九八二

日本における初期の小児科領域についての一考察 安達原睦子

日医史誌 二八(二)二二三 一九八二

人名録

医会設立当時の静岡県医師人名簿 土屋重朗 日医史誌 二八

(二)二三二〇二三三 一九八二

精神医学史

私宅監置調査の現代的意義 吉岡真二 日医史誌 二八(四)

四五七〇四七〇 一九八二

たぶればとの世界 高江洲義英 臨床精神医学 一一(一)五

〇一〇 一九八二

精神科医のみた平安朝―光と影と― 米山千代子 臨床精神医

学 一一(一)一一〇一八 一九八二

中古・中世の信仰と狂気―踊り念仏の恍惚と狂躁― 小西輝夫

臨床精神医学 一一(一)一九二四 一九八二

忘想考―日本の精神症状論の展開― 宮本忠雄 臨床精神医学

一一(一)二五〇三二 一九八二

近世日本における非順応型人格類型の精神医学的研究―畸人の系

譜― 小田 晋 臨床精神医学 一一(一)三三〇三八 一

九八二

江戸時代の精神医学 疾病論 昼田源四郎 臨床精神医学 一

一(一)三九〇四七 一九八二

江戸時代の精神医学 治療論 小林靖彦 臨床精神医学 一一

(一)四九〇五四 一九八二

整形外科史

関節外科の今昔 片山良亮(他三名) 関節外科 一(一)七

三〇八一 一九八二

人工関節の歴史 片山良亮 関節外科 一(二)二〇三 一九

八二

関節外科の歩み 片山良亮 関節外科 一(三)三八四〇三八

五 一九八二

関節外科の歩み 片山良亮 関節外科 一(四)五〇八〇五〇

九 一九八二

本邦における骨髄内骨折 固定法の歴史と展開 手島幸三 北

九州市医報 (二月号) 一九八二

整形外科の歴史

諸国における整形外科の発展 ドイツ 加藤 正訳 整形外

科 三三(一)一三七〇一四一、(二)二五五〇二五七、(三)

三七四〇三七六、(四)四八五〇四八九、(五)六〇五〇六〇

八、(六)七三二〇七三三、(七)八五五〇八五七 一九八二

諸国における整形外科の発展 オーストリア 加藤 正訳

整形外科 三三(八)九七三〇九七四 一九八二

スカンジナビア 加藤 正訳 整形外科 三三(九)一〇九八

〇九九 一九八二

イタリア 加藤 正訳 整形外科 三三(一〇)一一一三〇

一二二七 一九八二

アメリカ 加藤 正訳 整形外科 三三(一一)一三三三～

一三三七(一二)一九三三～一九二六 一九八二

整骨範草稿について 蒲原 宏 日医史誌 二八(二)一八三

～一八五 一九八二

日露戦争における切斷・義肢と乃木式義手 武智秀夫 日医史

誌二八(三)三三八～三五五 一九八二

生化学史

医史学から見た医化学から生化学への発展とその未来像 柴田

幸雄 日医史誌 二八(二)一九六～一九八 一九八二

西洋医学史

西洋医学の歴史

リスターたちの防腐法の発明 矢部一郎 医歯薬進学 二

(一)五八～六一 一九八二

インシュリンの発見 矢部一郎 医歯薬進学 二(二)六四

～六七 一九八二

The History of Acupuncture in the West: Eroticism, Esotericism

and Opposition to Cartesian Rationale Complementarity to

the Occidental Medical System J. Bossy 日医史誌 二八

(一)一一〇～八一 一九八二

ウイルス学の出発 矢部一郎 医歯薬進学 二(三)五〇～

五三 一九八二

サレノノ医学前史 小沢吉見 日医史誌 二八(二)一八八～

一八九 一九八二

いわゆる「ドイツ医学」について 中川米造 日医史誌 二八

(二)二七六 一九八二

Two Legacies of the Later Alexandrian School: The preliminary

questions in commentaries; the theory/practice division of

medicine Andrew CUNNINGHAM 日医史誌 二八(三)

四〇〇～四二四 一九八二

東洋医学史

アーユルヴェーダの概念 H.S. シャルマ(稲村晃江訳) ア

ーユルヴェーダ研究 (一一)五〇～九 一九八二

アーユルヴェーダによる薬物学の概念 H.S. シャルマ(稲村

晃江訳) アーユルヴェーダ研究 (一一)一〇～一六 一九

八二

アーユルヴェーダにおけるドーシャの病理学 稲村晃江 アー

ユルヴェーダ研究 (一二)一七～二七 一九八二

アーユルヴェーダの哲学的背景 中村 元 アーユルヴェーダ

研究 (一二)四二～四五 一九八二

アーユルヴェーダ医学と中国医学の薬物 難波恒雄 アーユル

ヴェーダ研究 (一二)五三～五五 一九八二

アーユルヴェーダと医学討論の方法 佐藤 任 アーユルヴェ

ーダ研究 (一二)六〇～六二 一九八二

仏典とシュルタ本集にみられる飲食について 杉田暉道 アー

ユルヴェーダ研究 (一二)七一～七二 一九八二

アーユルヴェーダにみる歯の病理と歯の衛生 杉本茂春 アー

ユルヴェーダ研究 (一二)七三～七四 一九八二

医学におけるアーユルヴェーダ・システム D.M.R.B. デイサ
ナヤケ アーユルヴェーダ研究 (一一二) 七七七～七九 一九八
二

マードヴァニダーナ及びその注、マドコーシャにおける癆病(ラ

ージャヤリシマン)の四種の原因 竹村一三・中田直道 ア

ーユルヴェーダ研究 (一一二) 八〇～八一 一九八二

「中国医学史」(陳邦賢著)と「支那中世医学史」(廖温仁著)と
のかかりあい 山本徳子 医学史研究(五六) 一～一二
一九八二

近代日本鍼灸医学史(一〇〇) 鍼灸研究のあけぼの 森秀太郎

医道の日本 四一(一一)一〇五～一一一 一九八二

昭和五六年(一九八二)漢方略史年表 矢数道明 漢方の臨床

二九(三)三五～四三 一九八二

中国医学の源流と東西交流及び道教との関係 吉元昭治 漢方

の臨床 二九(四)九～一一、(五)三九～四〇、(六)二七～

二八、(八)一〇～一一、(九)二三～二六 一九八二

中国に保存されている日本刊(写) 傷寒論・金匱要略関係書目

録 真柳 誠 漢方の臨床 二九(九)三三～四九、(一〇)

三六～五〇 一九八二

未病医学の歴史的考証(その一) 有地 滋・粟島行春 漢方

の臨床 二九(一二)二二～二六 一九八二

傷寒例について 丸山敏秋 中医学臨床 三(臨時増刊号)三〇

七～三二 一九八二

Prescription Written at the Time of the Han Dynasty Akira

AKAHORI 日医史誌 二八(一)一四二～一二二 一九八
二

中国における「医は仁術」の起源 山本徳子 日医史誌 二八

(二)二〇五～二〇七 一九八二

中国医学と道教(その二 太平洋経について) 吉元昭治 日医

史誌 二八(二)二〇八～二一〇 一九八二

中国古代医学における陰陽について 家本誠一 日医史誌 二

八(二)二一〇～二二二 一九八二

中国伝統医学修得学生の漢語素養について 小杉順一 日医史

誌 二八(二)二五一～二五三 一九八二

黄帝内経素問の「気」とベルクソンの「エラン・ピタール」につ

いて 竹内隆一 北海道医報 (五四二) 四～七 一九八二

地方史

足利の医家考 菊地 卓 足利の医史抄 (二二) 一～三、

(二四) 一～五 一九八二

医界風土記

宮崎県 鹿児島医学学校のこと 田代逸郎 日医ニュース

(四八九) 一九八二

千葉県 荻生祖徠と医師 荻生方庵・理庵父子の謎 堀部寿

雄 日医ニュース (四九二) 一九八二

広島県 呉秀三先生を賛える 野間祐輔 日医ニュース(四

九三) 一九八二

熊本県 九州相良医学資料 鳥越謙一 日医ニュース(四

九四) (四九七) 一九八二

大阪府 大阪の女医の草分け福井繁子 福井雅夫 日医ニ
 ース (四九八) 一九八二
 鳥取県 伯州散 森 納 日医ニース (四九九) 一九
 八二
 大阪府 明治期の大阪の医師・大谷謙齋 長門谷洋治 日医
 ニース (五〇〇) 一九八二
 静岡県 東京医学校出身者と静岡県 土屋重朗 日医ニ
 ス (五〇一) 一九八二
 長野県 上田公園内の三銅像 柳沢文秋 日医ニース(五
 〇二) 一九八二
 静岡県 コレラ検疫医員 土屋重朗 日医ニース (五
 〇三) 一九八二
 青森県 消えたカルテ謎に包まれた雪中行軍山口少佐の死
 松木明知 日医ニース (五〇四) (五〇五) (五〇六)
 一九八二
 岐阜県 岐阜県初の屍体解剖 飯沼齋齋生誕二百年祭 青木
 一郎 日医ニース (五〇七) 一九八二
 鹿児島県 南洋医療に貢献した医師 最上 泰・森 重孝
 日医ニース (五〇八) 一九八二
 秋田県 稲見家とオランダ医学 石田秀一 日医ニース
 (五〇九) 一九八二
 愛媛県 今治藩医 菅周庵 宮内孝夫 日医ニース (五
 一〇) 一九八二
 愛媛県 大洲藩医 菊山家 宮内孝夫 日医ニース (五

一) 一九八二
 京都の医学の源流 山田重正 日医史誌 二八(二)一四七
 一四九 一九八二
 山梨地方病の疫学史 中沢忠雄 日農村医学会誌 三一(四)七
 〇三 一九八二
 富山県の医の歴史を訪ねて 館 秀夫 北陸医史 四(一)七
 一五 一九八二
 大野藩処分中の医事 岩治勇一 北陸医史 四(一)三二
 三 一九八二
 伝 記
 打診法の開発者 Leopold Auenbrugger (一七二二)一八〇九)
 館野之男 医界新聞 (一四八八)二二三 一九八二
 William osler の原流を訪ねて 日野原重明 医学教育 一三
 (三) 一五三 一九八二
 William osler の源流を訪ねて 日野原重明 医学教育 一三
 (五) 三〇四 三〇九 一九八二
 適塾門弟調査から「藤井秀達」をめぐって 今村雄一 医学史
 研究 (五六) 一三二 一九八二
 後藤新平研究(四) 小野寺伸夫 医学史研究 (五六) 二五
 三 一九八二
 名古屋市の奈倉家 安井 広 医学選粹 (二九) 九一五
 一九八二
 済生学会と父荒瀬政一 荒瀬 進 医学選粹 (二九) 二二
 二四 一九八二

日本の医学をつくった人々

杉田玄白と『解体新書』 矢部一郎 医歯薬進学 (八) 五

六〇五九 一九八二

杉田玄白の同志たち 矢部一郎 医歯薬進学 (九) 六六〇

六九 一九八二

古方派の極に立つ吉益東洞 矢部一郎 医歯薬進学 六月

六四〇六七 一九八二

蘭学の啓蒙家 大槻玄沢 矢部一郎 医歯薬進学 一〇月号

七六〇七九 一九八二

偉大な西洋医学教育者―坪井信道 矢部一郎 医歯薬進学

一二月号 七〇〇七三 一九八二

鷗外と適塾 伴 忠康 いずみ 二九(一)一〇 一九八二

田代益雄と医学雑誌 伴 忠康 いずみ 二九(二)二八 一

九八二

西周と軍医づくり 津和野の春 伴 忠康 いずみ 二九(三)

一〇 一九八二

司馬江漢と蘭学 西遊日記 伴 忠康 いずみ 二九(四)一

二 一九八二

原形質の命名者ブルキニエ 中沢信午 遺伝 三六(四)六四

六九 一九八二

病理学者ウイルヒョウ―人と業績― 梶田 昭 科学医学資料

研究 (九三) 一一〇一四 一九八二

ロベルト・コッホの結核菌発見一〇〇周年 川喜田愛郎 科学

医学資料研究 (九七・九八) 一〇一三 一九八二

J・コーンハイム「炎症の新研究」(一八七三) 科学医学資料研

究 (九九) 六一 一九八二

ドゥーフ・ハルマの訳編と流伝 杉本つとむ 科学医学資料研

究 (二〇〇) 二〇九 一九八二

米原雲海作もう一つのジェンナー像 大滝紀雄 科学医学資料

研究 (二〇二) 一〇六 一九八二

ガルシア・ダ・オルタとポルトガル熱帯医学研究所 古川 明

科学医学資料研究 (二〇二) 六〇九、(二〇三) 一〇五 一九

八二

市立小倉病院の創立者が 小倉医学学校校長 西秋谷の軌跡 手

島宰三 北九州市医報 (九月号) 一九八二

医家江左氏と福井丹波守(付) 医家俳人江左尚白 山田重正

京都医学会誌 二九(一)一〇九―一二 一九八二

医史学のページ 古医方の大家 宇津木昆台 山田重正 京都

医学雑誌 二九(一)一〇三―一二 一九八二

青木昆陽一家の墓―遺言状をめぐって 木村清人 郷土目黒

(二六) 三〇―三三 一九八二

有持桂里 解説 原 桃介 近世漢方医学書集成 八五 一五

三二 一九八二

岸田吟香と壳薬 酒井シヅ クリニシアン 二九(一) 四―六

一九八二

医学の先駆者

高木兼寛 酒井シヅ 螢雪メディカル 三(二〇) 二四―二

七 一九八二

ヘルマン・フォン・ヘルムホルツ 酒井シヅ 螢雪メデイカル 三(一一) 二八〇三 一九八二
 ヒポクラテス 酒井シヅ 螢雪メデイカル 四(一) 三四〇三七 一九八二
 アウルス・コルネルウス・ケルズス 酒井シヅ 螢雪メデイカル 四(二) 三四〇三七 一九八二
 ガレノス 酒井シヅ 螢雪メデイカル 四(三) 三二〇三五 一九八二
 パラケルスス 酒井シヅ 螢雪メデイカル 四(四) 三〇〇三三 一九八二
 ジロラモ・ファブリッチ 酒井シヅ 螢雪メデイカル 四(五) 三四〇三七 一九八二
 ラブオアジェ 酒井シヅ 螢雪メデイカル 四(六) 一九八二
 マルチェロ・マルビーギ 酒井シヅ 螢雪メデイカル 四(七) 一九八二
 イブン・スィーナ 酒井シヅ 螢雪メデイカル 四(八) 一九八二
 ジョバンニ・パチスタ・モルガーニ 酒井シヅ 螢雪メデイカル 四(九) 一九八二
 歴史をつくる者(三完) 吉益東洞先生小伝 池田麗衣 経絡鍼療 一四(二) 五一〇五六 一九八二
 Williams James Mayo 博士の生涯 榊原 宣・小川健治・薬師寺公一訳 外科 四四(九) 九六七〇九六八、(一〇) 一

〇六七〇一〇六八、(一一) 二二九九〇一三〇〇 一九八二
 検眼鏡、角膜計を發明した ヘルマン・フォン・ヘルムホルツ 酒井シヅ 検査と技術 一〇(四) 三五六 一九八二
 血圧を最初に測定したステファン・ヘールス 酒井シヅ 検査と技術 一〇(八) 七三四 一九八二
 人と業績
 相良知安(一八三六〇一九〇六) 西川瀨八 公衆衛生 四六(一) 六二〇六三 一九八二
 坪井次郎 西川瀨八 公衆衛生 四六(二) 一四二〇一四三 一九八二
 三島通良 西川瀨八 公衆衛生 四六(三) 二一三〇二一五 一九八二
 後藤新平(一八五七〇一九二九) 小野寺伸夫 公衆衛生 四六(四) 二八四〇二八六 一九八二
 長谷川泰(一八四二〇一九一一) 西川瀨八 公衆衛生 四六(五) 三四二〇三四三 一九八二
 石黒忠恵 西川瀨八 公衆衛生 四六(七) 五〇二〇五〇三 一九八二
 薬学ゆかりの外国人 ヘルマン James Curtis Hebburn 根本曾代子 Chem Time (一〇五) 一八九八〇一九〇〇 一九八二
 医史からみた救急と医師救急生方庵・理庵父子 堀部寿雄 千葉医師会報 三四(二) 九七〇一〇三 一九八二
 張仲景の学術思想試論 何 紹奇 中臨臨床 三(臨時増刊号) 一一七〇一二四 一九八二

張仲景方の版本 宮下三郎 中医臨床 三(臨時増刊号)一三

九一四一五 一九八二

W. Taylor の本部宛報告書について その一 初期(主として同

志社關係) 長門谷洋治 「同志社アメリカ研究」別冊六

三三〇四四 一九八二

鈴木三伯先生の業績 首藤友彦 東北公衛会誌 (三一)二七

一九八二

北国生まれの名医たち 皮膚科の創立者・土肥慶蔵 日戸修一

とやま医報 (八二二)三四〇三七 一九八二

英医ウィリアム・ウィリス(一八三七〜一八九四)墓碑銘 蒲

原 宏 新潟県医師会報(三八三) 一九八二

越後医療史(その二) 中村幸一 新潟薬大研報 (二)五九

〜六八 一九八二

三宅秀日誌(一八八八〜一九三八) 小関恒雄 日医史誌 二

八(一)三四〇四七 一九八二

来日イギリス人医師の研究 松木明知 日医史誌 二八(一)

四八〇五五 一九八二

大塚敬節先生の御診察ぶり見学記録 松田邦夫 漢方の臨床

二九(一)三四〇三八 一九八二

アスケレピオス伝説の周辺 石渡隆司 ギリシャ エピダウロ

ス博物館蔵医神アスケレピオス像 二〇六 一九八二

安芸守定と安芸家(北小路家)について 北小路博史 日医史

誌 二八(二)一六四〇一六六 一九八二

向井元升の家系 中西 啓 日医史誌 二八(二)一六九〇一

七〇 一九八二

誰が山脇東洋に苛私林牛私「解体原書」を贈ったか 川島恂二

日医史雑誌 二八(二)一七一〜一七三 一九八二

稲村白羽(三伯)の「金匱方註」について 中山 沃 日医史

誌 二八(二)一七六〜一七八 一九八二

本居宣長の医学と国学 高橋正夫 日医史誌 二八(二)一七

九〇一八一 一九八二

柚木太淳について 中野 操 日医史誌 二八(二)一八一

一九八二

江馬元齡の医学史的漢詩文について 青木一郎 日医史誌 二

八(二)一八二 一九八二

フランスにおける最初の医学新聞を発行したニコラ・ド・ブレニ

ーについて 大村敏郎 日医史誌 二八(二)一八九〜一九

一 一九八二

F・グリソンの被刺激性学説とその影響 栗本宗治 日医史誌

二八(二)一九四〜一九五 一九八二

ディオスクリデス・「ウィーン写本」 大槻真一郎 日医史

誌 二八(二)一九八〜二〇〇 一九八二

英国外交文書中の医師W・ウィリスの足跡、主にP.R.O.G.F.O.

45による 原口忠男 日医史誌 二八(二)二〇一〜二〇三

一九八二

Monteverde 作 Edward Jenner の大理石像 加藤四郎 日医

史誌 二八(二)二〇三〜二〇五 一九八二

徳島時代の関寛斎 その医学的業績について 福島義一 日医

史誌 二八(二) 二二九〜二三〇 一九八二

有持桂里の墓碑銘および過去帳とその漢方医学について 原

桃介 日医史誌 二八(二) 二五七〜二五九 一九八二

新資料「伊藤圭介関係書翰集」について 谷沢尚一 日医史誌

二八(二) 二六三〜二六五 一九八二

吉益四峰(今井鉄太郎)の家系について 森納 日医史誌

二八(二) 二六八〜二六九 一九八二

エルウィン・ペルツと温泉医学 安井 広 日医史誌 二八

(二) 二七八〜二八〇 一九八二

金沢におけるホルトルマンの外科診療 寺畑喜朔 日医史誌

二八(二) 二八〇〜二八二 一九八二

呉秀三先生ヨーロッパ留学中の署名録 オーストリー・ドイツ精

神神経学の巨匠たちの筆蹟 岡田靖雄 日医史誌 二八(二)

二八六〜二八七 一九八二

欽明朝に来日したイラン系の医師王有俊陀について 伊藤義教

松本明知 日医史誌 二八(二) 二九〇〜二九一 一九八二

E・ペルツと発疹チフス 安井 広 日医史誌 二八(三) 三

〇七〜三二六 一九八二

多紀元簡と「蝦夷地異疾考」 松本明知 日医史誌 二八(三)

三八五〜三九〇 一九八二

A.F.ポードインの生年月日について考察 石田純郎 日医史誌

二八(三) 三九一〜三九四 一九八二

呉秀三先生没後満五〇年記念行事 岡田靖雄 日医史誌 二八

(四) 四二五〜四二六 一九八二

シーボルトと彼の日本文化への影響 呉 秀三 日医史誌 二

八(四) 四二七〜四四三 一九八二

呉秀三先生の生涯と業績 岡田靖雄 日医史誌 二八(四) 四

四四〜四五六 一九八二

シーボルト研究史における呉先生 箭内健次 日医史誌 二八

(四) 四七九〜四八五 一九八二

佐藤藤佐人間考より 佐藤泰然におよぶ 布施昌一 日本医事

新報 (三〇一三) 五九〜六一、(三〇一四) 六二〜六四、

(三〇一五) 六七〜六九、(三〇一六) 六五〜六八、(三〇一

七) 六四〜六七、(三〇一八) 六七〜七一 一九八二

ヒボクラテス像由来記 嶋田宗之 日本医事新報 (三〇一五)

六三〜六四 一九八二

呉建先生を偲ぶ 生誕百年を記念して 美甘義夫他 日医新報

(三〇三六) 四三〜五〇 一九八二

入沢達吉先生と大公方論 王丸 勇 日本医事新報 (三〇四

〇) 一六〜一七 一九八二

宣長のうちなる医師 布施昌一 日本医事新報 (三〇四二)

六一〜六四、(三〇四三) 六五〜六八 一九八二

高野長英 半谷二郎 日医新報 (三〇三二) 六三〜六六、(三

〇三三) 六二〜六四、(三〇三四) 六四〜六六、(三〇三五)

六三〜六五、(三〇三六) 六四〜六七、(三〇四四) 六五〜六

八、(三〇四五) 六六、(三〇四六) 六三〜六五、(三〇四七)

六三〜六六、(三〇四八) 六四〜六七、(三〇四九) 六六〜六

九、(三〇五一) 六三〜六六、(三〇五二) 六九〜七二、(三

〇五三) 六七～六九、(三〇五四) 六八～七一、(三〇五五) 六四～六六、(三〇五六) 六六～七〇、(三〇五七) 六四～六七、(三〇五八) 六五～六九、(三〇五九) 六四～六八 一九八二
 ローベルト・コッホの日本来訪 中内四郎 日本医事新報(三〇四六) 六七 一九八二
 仰げば尊し、緒方正清博士覚書

岸本頼子 日本医事新報(三〇五四) 六六～六七 一九八二
 佐久間象山『増訂荷蘭語彙』の小察 杉本つとむ 日本歴史(四一五) 一～一八 一九八二

医学と哲学の統合と分離をめぐる—ガレノスの医学思想を中心に— 石渡隆司 人間像を求めて 九～三〇 一九八二

医学の散歩道

グザヴィエ・ビシャについて(一) フランス医学の華 堀

江健也 練馬区医師会だより (一六六) 一八～二二、(一六七) 一四～一七 一九八二

ルイ・パストゥール 堀江健也 練馬区医師会だより (一六八) 一八～二〇、(一六九) 二六～二八、(一七〇) 三二～三五、(一七二) 四一～四三、(一七三) 一六～二〇 一九八二

老学者と若い詩人の友情 晩年のシーボルトとドーディ 堀江健也 練馬区医師会だより (一七四) 九～一一、(一七五) 一六～一九 一九八二

池田謙斎—初代東京大学医学部長 堀江健也 練馬区医師会だより (一七六) 一四～一六 一九八二

Carl Peter Thunberg: 日本における西洋医学のスイューデン生れの先駆者 Harald Fodstad Neurol Med Chir 二二(七) 五七七～五八一 一九八二
 名医列伝

吉岡弥生 新しい明治の女性の強烈な個性 大竹節男 ぼん ぶう (七) 八〇～八一 一九八二

産褥熱の予防法を発見 迫害を受けた悲劇の産科医 ゼンメルワイス 蔵方宏昌 ぼんぶう (八) 七二～七四 一九八二
 腹部外科を開拓少年時代劣等生だった大外科医ビルロード 蔵方宏昌 ぼんぶう (九) 八二～八三 一九八二

近代外科の父アンブロアス・パレー 大学教授を越えた理髪外科医 蔵方宏昌 ぼんぶう (一〇) 一〇〇～一〇一 一九八二

打聴診の名人 佐々木東洋 努力で名医となった江戸っ子医者 蔵方宏昌 ぼんぶう (一一) 一〇二～一〇三 一九八二

独創的な産科学を樹立—賀川玄悦 富貴に敵しく貧者に優しい任侠の医者 蔵方宏昌 ぼんぶう (一二) 一二八～一二九 一九八二

アメリカ医学の開拓者—ウイリアム・オスラー 餓鬼大将だった名内科医 蔵方宏昌 ぼんぶう (一三) 一三四～一三五 一九八二

臨床医学近代化の推進者—ヘルマン・ブルーハルヴェ 独力で医学を勉強した名医 蔵方宏昌 ぼんぶう (一四) 一三六～一三七 一九八二

牛痘接種法の発見者エドワード・ジェンナー 医学・動物学で
幅広い研究 蔵方宏昌 ばんぶう (一五) 一三四～一三
五 一九八二

石炭酸防腐法の提唱者ヨゼフ・リスター研究に反対の医学界
を実証によって説得 蔵方宏昌 ばんぶう 一〇月号 一
三八～一三九 一九八二

化学療法の父パーラケルズ 伝統医学を改革した放浪の医師
蔵方宏昌 ばんぶう 一二月号 一三六～一三七 一九八二

近代産科学の建設者ウイリアム・スメリー 産科医の地位を
向上させる 蔵方宏昌 ばんぶう 一二月号 一〇〇～一
〇一 一九八二

福井藩医半井南陽先生漢詩 岩治勇一 福井県医師会だより
(一三六) 一～一九八二

大野高校保管の CHOMEL の屏絵について 岩治勇一 福井
県医師会だより (一三七) 一〇 一九八二

コッホの結核菌発見一〇〇年記念シリーズ(一) コッホーその
人となり 岡西順二郎 複十字 (一六三) 二～六 一九
八二

「越中石川家史」の紹介 松田健史・正橋剛二 北陸医史 四
(一) 三〇～三一 一九八二

加賀藩医南保家々譜竝に南保玄隆について(補遺) 加藤豊明
北陸医史 四(一) 三五～三六 一九八二

華岡青洲墓の赤外線写真について 松田健史 北陸医史 四
(一) 三八 一九八二

大聖寺藩不世出の蘭方医 渡辺卯三郎知行の生涯 加藤豊明
北陸医史 四(一) 四一～四六 一九八二
オスラー博士の生涯

科学のパン種 The Leaven of Science ペンシルバニア大学の
ウイスター解剖・生物学研究所開所式での講演(一八九四)

日野原重明・仁木久恵 Medicina 一九(一) 一七〇～一七
四、(二) 三五六～三六一 一九八二

結束・平和ならびに協調メリーランド州内科医師会の総会
での告別講演 日野原重明・仁木久恵 Medicina 一九
(四) 七六八～七七二 一九八二

古き人文学と新しき科学、一九一九年五月、オックスフォード
での古典協会の会長講演 日野原重明・仁木久恵 Medicina
(五) 九四八～九五六 一九八二

プラトンが描いた医術と医師、一八九八年 Johns Hopkins 病
院医史クラブ例会にて 日野原重明・仁木久恵 Medicina
一九(六) 一一四四～一一五〇、(七) 一三四〇～一三四九
一九八二

結びの言葉 L'Envoi (一九〇五年) # 私は私が出会ったすべて
のものの一部である (ユリシーズ) テニス 日野原重
明・仁木久恵 Medicina 一九(八) 一五三〇～一五三三
一九八二

トマス・ブラウン卿(その一)人物について(一九〇五年一〇
月一二日ロンドン市 Guy's Hospital の Physical Society での
講演) 日野原重明・仁木久恵 Medicina 一九(九)

一七二四～一七二〇 一九八二

トマス・ブラウン卿(その二) 著書「医師の信仰」および(そ

の三) 評価 日野原重明・仁木久恵 *Medicina* 一九(一

〇) 一八九二～一八九九 一九八二

ウイリアム・オスラー博士の著述とオスラーに関する文献

日野原重明 *Medicina* 一九(一一) 二一〇〇～二一〇六

一九八二

断片医学史散歩 南千住の円通寺に高松凌雲の碑を訪ねて 春

田三佐夫 *Mod. Media* 二八(九) 四六三～四六七 一九八二

医学歴史散歩

京都府 杉立義一 臨科学 一八(一) 一〇二～一〇八 一

一九八二

兵庫県 堀内 冷 臨科学 八(一) 一〇九～一一三 一九

八二

岡山県 中山 沃 臨科学 一八(二) 二三六～二四〇 一

一九八二

徳島県 福島義一 臨科学 一八(二) 二四一～二四四 一

一九八二

香川県 石田純郎 臨科学 一八(三) 三六〇～三六四 一

一九八二

愛媛県 宮田孝夫 臨科学 一八(三) 三六五～三七〇 一

一九八二

高知県 吉村淑甫 臨科学 一八(四) 四九九～五〇二 一

一九八二

広島県 阪田泰正 臨科学 一八(四) 五〇三～五〇六 一

一九八二

島根県 古代出雲の医療 米田正治 臨科学 一八(五) 六

二四～六二七 一九八二

鳥取県 森 納 臨科学 一八(五) 六二八～六三二 一九

八二

山口県 田中助一 臨科学 一八(六) 七三四～七三七 一

一九八二

佐賀県相良知安 ドイツ医学に殉じた希代の医政治家 鍵山 栄

臨科学 一八(六) 七三八～七四二 一九八二

宮崎県 田代逸郎 臨科学 一八(七) 八八一～八八五 一

一九八二

大分県 解剖史二題 高浦照明 臨科学 一八(八) 一〇

〇一～一〇〇四 一九八二

熊本県 鹿子木敏範 臨科学 一八(八) 一〇〇五～一〇一

〇 一九八二

福岡県 奥村 武 臨科学 一八(一〇) 一二九二～一二九

六 一九八二

鹿児島県 森 重孝 臨科学 一八(一〇) 一二九七～一三

〇〇 一九八二

沖縄県 三村悟郎・照屋寛善 臨科学 一八(一一) 一四一

三～一四一九 一九八二

山形県 石川 誠 臨科学 一八(一二) 一五二四～一五二

六 一九八二

長崎県 中西 啓 臨科学 一八(一二)一五二七~一五三
一 一九八二

脊髄外科のバイオニア東陽一先生に聞く 天見民和 臨整外
一七(三)二二九~二三五 一九八二

伝記(双)
日本の医学をつくった人々
田代三喜と曲直瀬道三 矢部一郎 医歯薬進学 四月 八〇
~八三 一九八二

古方派によるルネサンス 矢部一郎 医歯薬進学 (五)六
〇~六三 一九八二

山脇東洋と人体解剖 矢部一郎 医歯薬進学 (六)四〇~
四三 一九八二

東洞から希哲へ 勝田正泰 中医臨床 三(臨時増刊号)二四
~二八 一九八二

J.C. バリーと柴原宗助 金沢豊治 日医史誌 二八(一)二三
四~二三六 一九八二

土肥慶蔵と呉秀三 長門谷洋治 日医史誌 二八(二)二八三
~二八五 一九八二

京都における歯科医学の先覚者たち 浦田耕作 日医史誌 二
八(二)二八八~二九〇 一九八二

御雇解剖学教師ギールとディッセ(一) 小関恒雄 日医史誌
二八(三)三二七~三二七 一九八二

お雇いオランダ人医師総論 ボードイン人脈 石田純郎 日医
史誌 二八(三)三二八~三三七 一九八二

呉秀三・森鷗外の統計研究に寄せて 丸山 博 日医史誌 二
八(四)四七一~四七八 一九八二

北政所と淀殿 王丸 勇 日本医事新報 (三〇二二)五九
六〇 一九八二

吉宗と白石 長与健夫 日本医事新報 (三〇二八)六八
九八二

谷口謙と森鷗外 小関恒雄 日医新報 (三〇三七)五九
二、(三〇三八)六三~六六 一九八二

京都泊雲塾明治・大正補遺 眼科医森祐晴と杉浦重剛 水原 完
日医新報 (三〇四九)五九~六二 一九八二

内山覚順(覚伴)と稲生宜義(若水) 加藤豊明 北陸医史
四(一)三六~三八 一九八二

山脇東洋とパレロ 四谷健二郎 保険診療 三七(三)五六
五七 一九八二

伝染病及予防史
当所における胃集検の歩み 木内達弥 胃癌と集検 (五六)
一一五~一一六 一九八二

胃カメラ集検二〇年の歩み 藤田健三 胃癌と集検 (五六)
一一一 一九八二

明治二〇年代以後のわが国の結核予防、診断、治療の諸問題に関
する史的展望 岩崎龍郎 結核 五七(六)三五七~三六二、
(七)三九九~四〇七 一九八二

治療史
治療儀礼の研究 池田光穂 医学史研究 (五六)三六~四六

一九八二 結核菌発見とその医学史的な脈 川喜田愛郎 複十字 (一)

A・ルイ「瀉血の効果に関する研究」(一八三五) 「ブルッセル氏反批判」(一八三四) ほか 科学医学資料研究(九九)七

七八 一九八二 治療の歴史 血清療法 松橋 直 治療学 八(一)一〇四

一〇六 一九八二 インスリン療法の歩み 後藤由夫 治療学 八(一)三〇二

三〇四 一九八二 内科史 私の血液研究史 清水盈行 日血会誌 四五(二)一七六

九八二 博物館 漢方文献の善本を所蔵する図書館とその利用法 その二 台湾国立故宫博物院所蔵 楊守敬観海堂本 小曾戸洋・原中瑠璃子

・小林茂三郎 薬学図書館 二七(一)二五〇三二 一九八二 病理学・細菌学

結核菌発見とその医学史的な脈 川喜田愛郎 医学界新聞(一五〇〇)一〇 一九八二

結核菌発見一〇〇年と五〇年 中村敬三 医薬の門 二二(八)九) 一七〇〇一七二 一九八二

薩摩医人群像補遺(その三四) 森 重孝 鹿児島市医報 二一(五)二五 一九八二

微生物学発展の歴史 福見秀雄 からだの科学 (増刊一三) 七〇一〇 一九八二

結核菌発見とその医学史的な脈 川喜田愛郎 複十字 (一六五)一五一六 一九八二

座談会 結核菌発見一〇〇年 砂原茂一・川喜田愛郎・五味二郎・宮本 忍・島尾忠男・徳永 徹・三浦大助 日本医事新報 (三〇二三)三七一八 一九八二

病院史 ABCCに関する研究ノート(その四) 松坂義正 広島医 三

五(四)五四三〇五五三 一九八二 金沢衛戍病院内規定について 寺畑喜朔 北陸医史 四(一)二九一三〇 一九八二

県立病院前史 田代逸郎 宮崎医師会誌 六(一)八七〇九二 一九八二

風俗史 医療の民俗誌 端午の節供の由来 五月五日はなぜ薬日(くすりび)なのか 宗田 一 健と自然 一一(三)二二〇二五 一九八二

夏の保健行事 宗田 一 健と自然 一一(四)三二〇三五 一九八二

神農さんと冬至祭 宗田 一 健と自然 一一(六)三二〇三三 一九八二

祭祀の医療思想 宗田 一 日医史誌 二八(二)一四三〇一 四六 一九八二

川柳医療風俗史・補遺 山本成之助 日本医事新報 (三〇一六)六八〇七〇、(三〇二〇)六八〇七〇、(三〇二九)六八

七〇、(三〇三九)六八七〇、(三〇五七)七二七四、

(三〇六一)五四七五七 一九八二

身体フォークロア―糞尿・ツバ 裸・髪 野沢謙治 日本民

俗学(一四一)三五四三三 一九八二

仏教医学

初瀬長谷寺にみる治病利生 関根正雄 医学選粹 (二九) 一

六二二 一九八二

放射線医学史

放射線医学の歴史と現状 館野之男 科学医学資料研究 (九

三)八二一〇、(九九)八二一〇 一九八二

“X線の発見”と実験・技術・社会

—T. Kuhnらの科学的発見論の検討— 宮下晋吉 科学史

研究 二二(一四三)一六二一七五 一九八二

—一九九〇～九五年代の“Stralica”研究の展開— 宮下晋

吉 科学史研究 二二(一四四)二〇一～二〇九 一九八二

放射線医学と技術の半世紀 高橋信次 他二名 サクラ×レイ

写研 三三(五)二六三〇 一九八二

本邦放射線事始に尽した人びと 今市正義 日医史誌 二八

(一)二三〇～二三一 一九八二

東大医学部放射線医学教室五〇周年記念日を迎えるに当たって

飯尾正宏 臨放線 二七(六)五九一～五九二 一九八二

御雇教師チーゲルの裁判医学講義録 小関恒雄 犯罪学雑誌

四七 二四六～二四九 一九八一、四八 三七七～四〇 一九八

二

明治初年の医学断訟学雑誌記事 小関恒雄 犯罪学雑誌 四八

(三)四〇 一九八二

麻酔

世界最初の麻酔関連死を巡って トーマス・ハーバートの症例

松木明知 日医史誌 二八(二)二九二 一九八二

華佗は果してベルシャカ―松木先生に対する反論 郎 需才

蔡 伯英 麻酔 三一(二)一七六～一八一 一九八二

郎氏の論文に対する反論 松木明知 麻酔 三一(二)一八一

～一八二 一九八二

John Snowの跡をロンドンに尋ねて 松木明知 麻酔 三

一(三)二六四～二六九 一九八二

世界初の麻酔関連死を巡って 松木明知 麻酔 三一(四)

四〇八～四一四 一九八二

もう一人の米国近代麻酔科学の紹介者 田中憲二博士 松木

明知 麻酔 三一(五)五三三～五三九 一九八二

再び麻酔科の名称改正について 佐藤教授に対する反論 松

木明知 麻酔 三一(一)一三〇～一三〇五 一九八二

本邦で発見された筋弛緩薬 Magnocurarine を巡るエピソード

松木明知 麻酔 三一(二)一四一四～一四一九 一九八

二

薬学史 キニン研究の歴史 鈴木友二 感染・炎症・免疫 一一(二)

一一七～一二三 一九八二

医・薬学の履歴書

砒素は微量を用いましたわ 大量だとすぐわかっちゃう 鵜

野 誠 新医療 九(五) 一四二~一四三 一九八二

一角獣でつくった酒杯を欲しがった王侯貴族 鵜野 誠 新

医療 九(六) 一三〇~一三一 一九八二

江戸時代の本草学―その流れと性格 難波恒雄 中医臨床 三

(臨時増刊号) 二一五~二二〇 一九八二

喘息薬の歴史 信太隆夫 治療学 九(二) 二七七~二八〇

一九八二

漢代の粉末製造法「治」法について 赤堀 昭 日医史誌 二

八(二) 二五五~二五七 一九八二

「蘇」について 白崎昭一郎 日医史誌 二八(三) 三五二~

三六二 一九八二

インスリンの発見 森寺邦三郎 日本医事新報 (三〇一二)

五八~五九 一九八二

身近な薬草の健康管理について 森田直賢 北陸医史 四(一)

一五~一九 一九八二

蘭学

石坂空洞塾のエレキテル 宗田 一 医道の日本 四一(七)

二 一九八二

その他

この道あの道 緒方富雄 医学のあゆみ 二二(一) 四八

一九八二

記念の表現 緒方富雄 医学のあゆみ 二二(四) 二一〇

一九八二

プロテスタンティズムと近代医学 大島智夫 科学医学資料研

究 (九三) 一~八 一九八二

百号を迎えて 緒方富雄 科学医学資料研究 (二〇〇) 一~

二 一九八二

呪術・病氣・治療 波平恵美子 教と医 三〇(一) 一一〇

九~一一六 一九八二

打診法・聴診法 酒井シヅ けんさ 一一(三) 四 一二~一

六 一九八二

輸血の歴史 大橋教良 綜合臨三二(増刊) 一〇二四 一九

八二

最初の救急車 吉岡敏治 綜合臨 三一(増刊) 一三五一 一

九八二

いのちの値段 酒井シヅ 綜合臨 三一(三) 五五八~五五九

一九八二

最初の救急医療情報センター 杉本 侃 綜合臨 三一(増刊)

九六九 一九八二

明治中期の手話法案「新発明手話法」「手話術」 米川明彦 聴

覚障害 三七(一) 一六~二〇 一九八二

体外循環の歴史 広瀬 一・川島康生 治療学 八(六) 九一

二~九一五 一九八二

江戸時代の京都における医の倫理の史的考察 守屋 正 日医

史誌 二八(二) 一五〇~一六三 一九八二

鼠の自然発生実験の考察 実験中の事故は史論の対象ではない

安江政一 日医史誌 二八(二) 一九二~一九四 一九八二

医療と宗教 前田敏行 日本医事新報 (三〇一一) 五五～五七
(三〇一九) 六六～六八 一九八二

「医は仁術なり」という言葉について 青島敏行 日本医事新
報 (三〇四三) 六一～六二 一九八二

大公方論争 王丸 勇 日本医事新報 (三〇五五) 五九～六
一 一九八二

バタバタ茶をめぐって 鏡森定信・成瀬優知・渡辺正男 北陸
医史 四(一) 二五～二八 一九八二

欧文文献

Diathesis: The Word and the Concept in Medical History.
ACKERKNECHT, Erwin H. Bulletin of the History of
Medicine 56 (3) 317～325 1982

Medicine and Faith in Early Christianity. AMUNDSEN,
Darrel W. Bulletin of the History of Medicine 56 (3)
326～350 1982

An eighteenth-century case history: Carlisle Spedding 1738.
BECKETT, J.V. Medical History 26 (3) 303～306 1982

International Medical Cooperation: Dr. Albert Sabin, Live
Poliovirus Vaccine and the Soviets. BENISON, Saul
Bulletin of the History of Medicine 56 (4) 460～483 1982

Celebration and History: The Centenary of Robert Koch's
Discovery of the Tubercle Bacillus. BENISON, Saul
Bulletin of the History of Medicine 56 (2) 157～159 1982

Psychiatrische Versorgung in Preu Ben, 1880～1910. BLA-

SIUS, Dirk Sudhoffs Archiv 66 (2) 105～128 1982
Eine bisher unbeachtete Erklärung Schönleins. BLEKER,
Johanna Sudhoffs Archiv 66 (2) 186～187 1982

Roman Surgical Instruments in the Johns Hopkins University
Institute of the History of Medicine. BLIQUEZ, Lawrence
J. Bulletin of the History of Medicine 56 (2) 195～217
1982

Texts and Documents: Banting's, Best's, and Collip's Accounts
of the Discovery of Insulin. BLISS, Michael Bulletin of
the History of Medicine 56 (4) 554～568 1982

Waldemar Haffkine's Cholera Vaccines and the Ferran-Haffkine
Priority Dispute. BORNSIDE, George H. Journal of the
History of Medicine and Allied Sciences 37 (4) 399～422
1982

Herbalists and medical botanists in mid-nineteenth-century
Britain with special reference to Bristol BROWN, P.S.
Medical History 26 (4) 405～420 1982

The Giustiniani Medicine Chest. BURNETT, John Medical
History 26 (3) 325～333 1982

Mormon "Physiology", 1850～1875. BUSH, Jr., Leste E.
Bulletin of the History of Medicine 56 (2) 218～237 1982

Boyle and Harvey on the Valves in the Veins. BYLEBYL,
Jerome J. Bulletin of the History of Medicine 56 (3)
351～367 1982

- Abraham Flexner's Philanthropy: The Full-Time System in the Department of Surgery at the University of Cincinnati College of Medicine, 1910~1930. CANGI, Ellen Corwin *Bulletin of the History of Medicine* **56** (2) 160~174 1982
- Nineteenth-century treatments for rabies as reported in the *Lancet*. CARTER, K. Codell *Medical History* **26** (1) 67~78 1982
- Malaria in Late Tsarist Russia. CONROY, Mary Schaeffer *Bulletin of the History of Medicine* **56** (1) 41~55 1982
- Queen Victoria's Medical Household. COOKE, A.M. *Medical History* **26** (3) 307~320 1982
- Physicians and the chemical analysis Mineral Waters in eighteenth-century England. COLEY, Noel, G. *Medical History* **26** (2) 123~144 1982
- The editions and translations of Dr. Matthew Baillie's *Morbid Anatomy*. CRAINZ Franco *Medical History* **26** (4) 443~452 1982
- Scientific truth and occult tradition: the medical world of Ebenezer Sibly (1751~1799). DEBUS, Allen G. *Medical History* **26** (3) 259~278 1982
- Der Wandel der Historiographic von Medizin und Naturwissenschaften in ihrer Gesellschaftlichen Bedingtheit. DIEHL, Bardo *Sudhoffs Archiv* **66** (3) 276~300 1982
- An attempt to estimate the true rate of maternal mortality sixteenth to eighteenth centuries. DOBBIE, B.M. *Willmott Medical History* **26** (1) 79~90 1982
- Suxamethonium -the development of a modern drug from 1906 to the present day. DORKINS, Huw R. *Medical History* **26** (2) 145~168 1982
- The Place of Medicine in a Hierarchy of Knowledge: The Illustration in Lyon Palais des Arts, ms. 22, f. 1 r, from the Eleventh Century. EASTWOOD, Bruce *Stansfield Sudhoffs Archiv* **66** (1) 20~37 1982
- Spatial und Temporal Distribution of Plague in a Region of Switzerland in the Years 1628 and 1629. ECKERT, Edward A. *Bulletin of the History of Medicine* **56** (2) 175~194 1982
- Lead and airne. Eberhard Gockel and the colica Pictonum. EISINGER Josef *Medical History* **26** (3) 279~302 1982
- Naval Medicine in the Age of Sail: The voyage of the New York. 1802~1803. ESTES, J. Worth *Bulletin of the History of Medicine* **56** (2) 238~253 1982
- Why a Physiologist? The Case of Henry P. Bowditch. FYE, W. Bruce *Bulletin of the History of Medicine* **56** (1) 19~29 1982
- Charles Edward Wallis and the rise of London's school dental service. GELBIER, Stanley, RANDALL, Sheila *Medical History* **26** (4) 395~404 1982

- Gilbertus Anglicus anglicized. GETZ, Faye Marie Medical History **26** (4) 436~442 1982
- The Episcopal Licensing of Physicians, Surgeons and Midwives. GUY, John R. Bulletin of the History of Medicine **56** (4) 528~542 1982
- The Nineteenth-Century Surgical Revolution-Antisepsis or Better Nutrition? HAMILTON, David Bulletin of the History of Medicine **56** (1) 30~40 1982
- Edward Frankland's Early Career as London's Official Water Analyst, 1865~1880: The Context of "Previous Sewage Contamination". HAMLIN, Christopher Bulletin of the History of Medicine **56** (1) 56~76 1982
- Texts and Documents: A History and Reminiscence of the Office of the Deputy Assistant Secretary of Population Affairs, Department of Health, Education and Welfare, 1969~1977 HELIMAN, Louis M. Bulletin of the History of Medicine **56** (1) 77~87 1982
- Corpusbildung in der deutschsprachigen medizinischen Fachliteratur des Mittelalters. HIRTH, Wolfgang Sudhoffs Archiv **66** (3) 239~275 1982
- American Association for the History of Medicine: Report of the Fifty-Fifth Annual Meeting. HUDSON, Robert P. Bulletin of the History of Medicine **56** (3) 410~418 1982
- Porphyria revisited. HURST, Lindsay C. Medical History **26** (2) 179~182 1982
- Somatic theories of mind and the interests of medicine in Britain, 1850~1879. JACYNA, L.S. Medical History **26** (3) 233~258 1982
- Zum Prioritätenstreit um die Metoposkopie: Hajek contra Cardano. JAHNCKE, Wolf-Dieter Müller Sudhoffs Archiv **66** (1) 79~84 1982
- Portrait of a man protected against Cholera. KEENE, Barbara E. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences **37** (4) 439 1982
- Randnotizen zu Danielle Jacquarts Wickersheimer-Supplement. KEIL, Gundolf Sudhoffs Archiv **66** (2) 172~185 1982
- Sir Francis Bacon's., Valerius. KLEIN, Jurgén Sudhoffs Archiv **66** (1) 38~69 1982
- Aristoteles' Grundgedanken zu Aufbau und Funktion der Körpergewebe. KULLMANN, Wolfgang Sudhoffs Archiv **66** (3) 209~238 1982
- The Circumcision of the Child on the Eighth Day. LACH, Elliot Journal of the History of Medicine and Allied Sciences **37** (2) 221 1982
- American Medicine as Viewed by Viennese Physicians, 1893~1912. LESKY, Erna Bulletin of the History of Medicine **56** (3) 368~376 1982
- The Fielding H. Garrison Lecture: Ceteris Paribus: The Evolu-

- tion of the Clinical Trial. LILIENFELD, Abraham Bulletin of the History of Medicine 56 (1) 1~18 1982
- The Alan Mason Chesney Medical Archives of the Johns Hopkins Medical Institutions. McCALL, Nancy, KANA-REK Harold Bulletin of the History of Medicine 56 (1) 88~92 1982
- Der Begriff des chemischen Elementes bei Joachim Jungius. MEINEL, Christoph Sudhoffs Archiv 66 (4) 313~338 1982
- The First Reported Case of Electrical Stimulation of the Human Brain. MORGAN, James P. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 37 (1) 51~64 1982
- Which Molins treated Cromwell for stone -and did not prescribe for Pepys? MORRIS, G.C.R. Medical History 26 (4) 429~435 1982
- Metropolitan Medicine and the Man-Midwife: the early life and letters of Charles Locock. MULITZ, Russell C. Medical History 26 (1) 25~46 1982
- Children's Ward. NOLAN, Elizabeth Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 37 (3) 322 1982
- Portrait of William Norris. PALY, David Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 37 (1) 65 1982
- John J. Abel and the Early Development of Pharmacology at The Johns Hopkins University. PARASCANDOLA, John Bulletin of the History of Medicine 56 (4) 512~527 1982
- Occupational Diversity: Barbersurgeons and the Trades of Norwich, 1550~1640. PELLING, Margaret Bulletin of the History of Medicine 56 (4) 484~511 1982
- The Wounding and Treatment of William of Orange in 1582. POLLITT, Ronald Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 37 (2) 135~158 1982
- Smallpox Epidemics in Puerto Rico during the Prevaccine Era (1518~1803). RIGAU-PÉREZ, José G. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences 37 (4) 423~438 1982
- New light on the history of penicillin. RONALDHARE Medical History 26 (1) 1~24 1982
- John Addenbrooke, M.D. (1680~1719). ROOK, Arthur, MARTIN, Lawrence Medical History 26 (2) 169~178 1982
- The Earliest Translation of Copernicus' "Revolutions" into German. ROSEN, Edward Sudhoffs Archiv 66 (3) 301~305 1982
- Brod's Brahe: Fact as Fiction. ROSEN, Edward Sudhoffs Archiv 66 (1) 70~78 1982
- Baroness Burdett-coutt's garden party: the International Medical Congress, London 1881. SAKULA, Alex Medical History 26 (2) 183~190 1982

- Aspekte der Medizingeschichte Japans im 16. ~19. Jhd. und der Deutschlandaufenthalt des Japanischen Schriftstellers und Mediziners Ōgai Mori in den Jahren 1884~1888. SCHA-UWECKER, Detlef Sudhoffs Archiv **66** (4) 350~389 1982
- Semantics of Sleep. SCHILLER, Francis Bulletin of the History of Medicine **56** (3) 377~397 1982
- Aspekte der Wissenschaftsgeschichte der Geowissenschaften. SCHRÖDER, Wilfried Sudhoffs Archiv **66** (4) 339~349 1982
- Illustrations from the Wellcome Institute Library: The last moments of H.R.H. The Prince Consort. SCHUPBACH, William Medical History **26** (3) 321~324 1982
- The Recognition of Leukemia as a Systemic Disease. SEUFERT, Walther, SEUFERT, Wolf D. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences **37** (1) 34~50 1982
- Chlorosis-Etiology Reconsidered. SIDDALL, A. Clair Bulletin of the History of Medicine **56** (2) 254~260 1982
- An eighteenth-century surgeon and apothecary, William Elmhirst (1721~1773). SIGSWORTH, E.M., SWAN P. Medical History **26** (2) 191~198 1982
- Illustrations from the Wellcome Institute Library: A note on the botanical prints and drawings. SLATTER, Enid M. Medical History **26** (4) 453~455 1982
- Irish prison doctors—men in the middle, 1865~1890. SMITH Beverly, A. Medical History **26** (4) 371~394 1982
- The Rise and Fall of Typhomalarial Fever: I. Origins. SMITH Dale C. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences **37** (2) 182~220 1982
- The Rise and Fall of Typhomalarial Fever: II. Decline and Fall. SMITH, Dale C. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences **37** (3) 287~321 1982
- Erasistratus's Dietetic Medicine. SMITH Wesley D. Bulletin of the History of Medicine **56** (3) 398~409 1982
- Notes on the history of dental dispensaries. SPENCER, E. Muriel Medical History **26** (1) 47~66 1982
- The illnesses and death of Robert Walpole. SPRIGGS, Edmund Anthony Medical History **26** (4) 421~428 1982
- Michelangelo and the Doctors. STEINBERG Leo Bulletin of the History of Medicine **56** (4) 543~553 1982
- The Blake Era at HMD. STEVENSON Lloyd G. Bulletin of the History of Medicine **56** (4) 455~459 1982
- Exemplary Disease: The Typhoid Pattern. STEVENSON, Lloyd G. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences **37** (2) 159~181 1982
- Zur Sterblichkeit jüdischer und nichtjüdischer Säuglinge STRÖDER, Josef, SCHUSTER Josef Sudhoffs Archiv **66** (2) 152~171 1982

Zur Geschichte der Stammbrüche und der aufsteigenden Kettenbrüche. VOGEL, Kurt Sudhoffs Archiv **66** (1) 1~19 1982

“Exploring the Inner Labyrinths of Creation”: Popular Microscopy in Nineteenth-Century America. WARNER, John Harley Journal of the History of Medicine and Allied Sciences **37** (1) 7~33 1982

Typologies of the Theory of Behaviorism since Descartes. WECKOWICZ T.E., WECKOWICZ Helen Liebel Sudhoffs Archiv **66** (2) 129~151 1982

Medicine in early Sri Lanka WIJESINHA S.S., WIJESINHA C.Y. Asian Med J **25** (9) 635~641 1982

The prehistoric hand pictures at Gargas: attempts at simulation WILDGOOSE, Martin, HANDINGHAM Evan, HOOPER Alex Medical History **26** (2) 205~207 1982

Ernst Unger: A Pioneer in Modern Surgery. WINKLER, Enno A. Journal of the History of Medicine and Allied Sciences **37** (3) 269~287 1982

The Scottish Society of the History of Medicine. Report of Proceedings, session 1980~1981 Medical History **26** (2) 199~204 1982